

草の根 通信

VOLUME
103

Kusanone Tsushin

[2020年6月発行]



特集

「ライマン・ホームズの航海日誌」の紹介 新米水夫が語る捕鯨の世界

・アメリカ 新型コロナウイルス被害状況報告

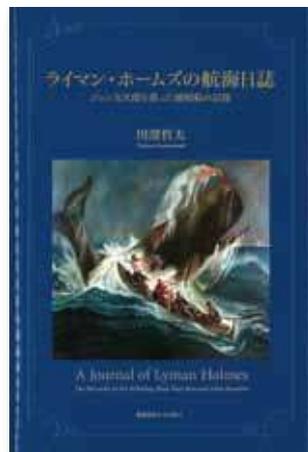
「ライマン・ホームズの航海日誌」の紹介 新米水夫が語る捕鯨の世界

今回は現在公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センター(CIE)が所有、管理している古書を紹介します。この古洋書は、2001年に神田の古書展で偶然に発見され、CIE理事・会長で、万次郎研究家でもある小沢一郎氏が購入し、万次郎研究に寄与するためにCIEへ寄贈しました。翻訳を行った川澄哲夫元慶應義塾大学教授はCIE評議員としても日米交流の促進に貢献してくださりました。現在原本は文京区にある東洋文庫に保管されています。

時は1839年10月31日、ホイットフィールド船長以下28名を乗せたジョン・ハウランド号は、マサチューセッツ州ニューベッドフォードから出航した。捕鯨業は当時の花形産業とも言えるだろう。18歳の新米水夫のホームズ青年は真っ新な木製表紙のノートを携えて乗り込み、クルーとしての新しい業務に胸を躍らせていたに違いない。

3年半の月日を経て、故郷に帰港する頃には恨み節に変わることになるが、この青年が綴った毎日の業務日誌が時を超え、万次郎らの救出に関する重要な資料として後世に残ることとなるとは本人も思っていなかったであろう。

1841年6月27日、万次郎たちがホイットフィールド船長率いるジョン・ハウランド号に救助された歴史的瞬間の記録は、船の公式記録の日誌よりも、このホームズによる航海日誌に詳しく記述されている。過酷な捕鯨生活の様子を、ホームズの心情とともに記録されているのも面白い。



川澄哲夫 翻訳・註
慶應義塾大学出版会株式会社

1843年5月8日月曜日 最後の日誌の末尾

最後のつぶやき、ぼやき、恨み節？

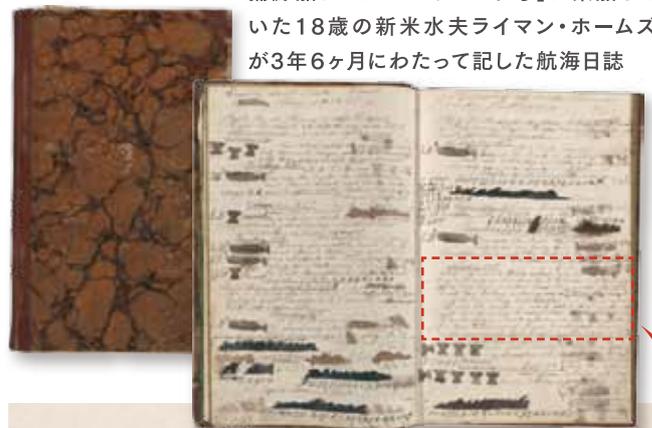
So Ends this long and Disagreeable Voyage which was performed in 3 years 6 months and 7 Days under the Command of Bill H. Whitfield.

SAILORS COMMANDMENT 鯨捕りの掟

汝は六日間、労をおしまず
力のあらん限り働け
そして七日目に、血塗られた甲板を
ごしごとすり、洗い清め
その上、ケーブルをきれいに磨くのだ

※ 日本語訳：「ライマン・ホームズの航海日誌 ジョン万次郎を救った捕鯨船の記録」より

遭難した万次郎ら5人を鳥島で救出した捕鯨船「ジョン・ハウランド号」に乗船していた18歳の新米水夫ライマン・ホームズが3年6ヶ月にわたって記した航海日誌



【万次郎が救出された日の記録・日本語訳】

月曜日 (1841年6月) 28日 (日付は原文まま)

午後1時、2隻のボートを下ろし、岸边にウミガメを探しに行く。3時にボートは戻ってきた。5人の中国人か日本人を連れ帰った。難船して、この島に漂着したということだった。彼らは、泳いでボートに乗り移ってきた。何も喋らないお互いに、身振り手振りしか、相手の言うことが理解できない。海岸に衣類と数個の箱を残してきたと言っているようだ。海岸に1隻(2隻ではないだろう)、難破した中国風ジャンクの残骸があった。彼らをサンドイッチ(ハワイ)諸島へ連れて行くように手配する。1隻のボートを島にやって、彼らの衣類を取ってきた。数個の箱と40ガロン入りの樽が1つ、難破船の残骸の傍に置いてあった。船は10トンか15トンくらいだろう。

その後、万次郎を乗せたジョン・ハウランド号は太平洋の大海原を走り回り、1843年5月8日、故郷のニューベッドフォードへ帰港する。ちょうど『白鯨』のメルヴィルが航海に出ている頃と重なる。コラムではメルヴィルの船と万次郎を乗せたジョン・ハウランド号の点が重なり合うニアミスがあったエピソードなど、川澄教授は様々な視点から関係する情報を紹介している。

日記の末尾をホームズは恨み節で締めくくる。果たして、これはホイットフィールド船長への悪口なのか、捕鯨業の現実を知ることになった後悔だったのか、ホームズ本人のみぞ知る。過酷な労働の中、毎日記録をつけるだけでも苦労だったと思われるが、その記録のおかげで、我々も大海原をジョン・ハウランド号とともに世界を旅する気分を味わえる。

REPORT アメリカ 新型コロナウイルス被害状況報告

新型コロナウイルス感染も落ち着きははじめ、全米各地では徐々に外出規制が解除されつつあり、新しい生活習慣(New normal)とともに、新しい通常生活を取り戻す努力が進められています。CIE-USより各地の様子が届きましたのでご紹介します。

WASHINGTON

Dale Watanabeさん

シアトル 6月2日現在

新型コロナウイルスの沈静化がやっと見えてきた中、シアトルやベルビュー、ワシントン州内の各地でも人種差別に対する抗議デモが行われました。ほとんどは平和的でしたが、便乗による破壊的な行為も見られました。

最初の新型コロナウイルス感染者は、シアトル北部に住む老夫婦でした。2月下旬の初期の感染はシアトル北部を中心に広がっていましたが、その頃はまだ新型コロナに対する検査体制が整っていませんでした。

現在、ワシントン州では、郡ごとに4段階に分けて規制解除が始まりました。

小さな郡では第2段階まで解除が進み、人口の少ない郡では対策を講じての経済活動が許可されています。

私が住んでいるシアトル・ベルビュー地域では、ゴルフのフォーサムを含む屋外でのレクリエーションは許可されるようになりました。

学校は今年度の登校はできず、集会形式の卒業式も中止となりました。アマゾンやマイクロソフトなどの大企業は10月まで各自在宅での業務と通知されました。

私が所属するワシントン州日米協会では、このような状況下でも社会的な交流を持続するために、オンラインで様々なイベントを開催していきます。日本に関する講演会や、日本の学校と文化を紹介する「Japan in School」を始め、偏見と人種差別など多様性のある問題にも向き合っていくと思っています。

James Kellyさん

ポートタウンゼンド 6月6日現在

ここワシントン州西側にあるオリンピック半島のポートタウンゼンドやセイクムでは、新型コロナウイルスの被害は比較的小さく、現在は緩和策第2段階へ進みました。マスクの着用、社会的距離の確保が義務付けられています。



静かな国立公園



本日卒業式を迎えた生徒たち



ようこそ！マスク着用と適度な距離をお願いします

CONNECTICUT / RHODE ISLAND

Gregory Boykoさん

フェアフィールド 6月1日現在

コネチカット州フェアフィールド郡はニューヨーク州に隣接し、多くの人がニューヨーク市へ通勤しているため、高齢の住人が多い町は特に新型コロナウイルスの重大な被害を受けました。特に高齢者施設での感染は甚大でした。州内3000人以上の死者の80%以上が高齢者施設の貧しい人々であったと報告されています。とはいえ、事態は徐々に回復しています。州の外出規制も徐々に緩和されつつあります。入院者数はかなり減少しており、殊に死亡率が低下していることは、大変喜ばしいことです。

William Farrellさん

プロヴィデンス 6月2日現在

全米で最も面積が小さい州、ロードアイランドでは、新型コロナの新規感染者数、死亡者数、入院者数の減少が見られており、本日は州内最も低い数が報告されました。現在は規制緩和策の第2段階へ移りました。人々の社会的距離の保持やマスク着用に従っており、感染者数の急増は見られません。また、ミネソタで起きたジョージ・フロイド氏の死を端緒とする暴動と略奪が昨夜未明にプロヴィデンス市で発生しました。人種差別、貧困、健康と教育の不平等は以前から存在していましたが、新型コロナの感染拡大による外出規制や失業によって不満が表面化しており、ジョージ・フロイド氏の事件はくすぶる怒りに火を注いだと知事はコメントしています。また、毎年7月にロードアイランド日米協会が主催する「黒船祭り」も延期となりました。プロヴィデンス・プリストル・ニューボートを中心に市民と日本を結ぶ有益なイベントですので、可能な限り早期の開催が望まれます。

WASHINGTON D.C.

Urban Lehnerさん

6月1日現在

DCでの新型コロナウイルス被害は、ニューヨークほど大きくなく、5月29日より規制解除緩和策の第1段階へ移行しました。それまでは、基本生活に関わる仕事、食料、医療関係従事者以外の住人は外出を制限されていました。

第1段階では、市の公園が解放され、一部の図書館の本を予約しドライブスルーで受け取ることができるようになりました。ヘアサロンは十分な対策が取られている店舗で、ヘアカットができるようになりました。また、DCでもジョージ・フロイド氏の死をめぐったデモや暴動が起きました。多くは平和的なものですが、DCの中心街の一部では店舗や建物の損傷が見られました。大統領が写真撮影のために平和的なデモの群衆を催涙ガスで撤退させたことは、昨今で最も有名な出来事でした。

現在は合法的に外出が可能ですが、私は可能な限り自粛しています。食料品も配達してもらい、レストランの食事もデリバリーを利用してはいます。自宅の外では、ほとんどの人がマスクを着用しています。第2段階の緩和策に進められるよう、皆が努力しています。

Louisa Rubinfienさん

6月2日現在

DCでの新規感染者数はこの1ヶ月間減少を続けています。緩和策第1弾での営業再開に伴い、近所のレストランは十分なスペースを保っての対応やテイクアウト販売で食事の提供をしています。天気の良い日には、公園や町の通りでの散歩をする人々を見かけますが、十分な社会的距離を保っています。物資も漂白剤を除いて十分に供給されているようです。

とは言え、失われた命や社会の実情を考えると、その悲しみを拭き去ることはできません。昨日はデモ行進に加え、大統領予備選挙の投票がDCで行われ、大勢の人たちが集まりました。外出時には必ずマスク着用と消毒用アルコールの携帯をしていますが、感染のリスクは付きまといま。再開したばかりのレストランや店舗も、厳重な対策を持って営業を続けていました。楽観的ではありませんが、とても落ち着いているように思います。日本の早期の回復はとても喜ばしいことです。近い将来、お互いに訪れることが可能になるのを楽しみにしています！

NEW YORK

David Janesさん

ウェストチェスター郡 6月1日現在

マンハッタンから北へ車で40分ほどの地域ではコロナ感染規制緩和策第4段階の第1段へ移行しました。

建設工事が再開され、食料品や薬局などの生活必需品の小売店やデリバリーや店舗前で受け取り可能なレストランが営業しています。音楽や芸術鑑賞の劇場はまだ規制解除されません。

ニューヨーク州の全ての学校は、授業を在宅でのオンラインに切り替えました。私も教育財団と共にオンライン授業のためのWi-Fi環境が必要な家庭への支援や、教師への専門能力開発支援を手伝っています。しかし、子供たち同士のコミュニケーションづくりには苦慮しています。集会形式の卒業式もすべて中止され、卒業生の家々の前には卒業を祝う看板を立ててあり、秋の新学期の開校予定も不透明です。

また、アメリカの習慣が急激に変化しています。習慣のなかった人々がマスクを着用し、握手やハグをせず、距離を保って挨拶をするようになりました。今後も新しい習慣を模索することになると思います。

このコロナ禍で、多くの悲しみや心痛が生じましたが、人生で本当に重要なことを考えさせられ、自身のコミュニティや行動を再評価できたと思います。



劇場はまだ閉鎖中

Ginger Wangeさん

ニューヨーク市 6月2日現在

私の故郷ミネアポリスで5月25日に起きたジョージ・フロイド氏の警官による残忍な行為は大変遺憾です。ミネアポリスは悲しみと怒りにあふれました。何千人もの人々が抗議し、正義と警察の改革を求めて集まっています。平和的なデモに便乗した暴動が続く、多くの企業や建物に破損、消失、破壊が生じました。様々な感情が入り混じっていますが、市民たちは団結し、さらに公平な街を創造することに全力で取り組み始めました。私もできる限りの形でその再建の一員になりたいと思っています。

私が住んでいるマンハッタンでは、感染の脅威はまだ続いています。自宅の外ではほとんどの人たちがマスクを着用しており、新しい習慣に不思議な感覚を覚えています。また、ウィルス感染防止のための社会的距離の維持が必要ですが、ジョージ・フロイド氏の死に応じたデモと抗議がここでも町中で起こっています。ダウンタウンにある私のアパートからもデモ隊の声や、夜間のヘリコプターの音が聞こえてきます。幸いなことにデモによる死者はありませんが、店舗や建物に被害が見られます。午後8時以降の夜間外出禁止令も発令されました。日本の皆さんがアメリカの事態を心配して下さっていることに感謝します！

Fred Katayamaさん

ニューヨーク市 6月1日現在

新型コロナウイルス危機の震源地であるニューヨーク市が直面した影響は甚大でした。すでにニューヨーク市が規制解除第1段階の対策を取っていますが、6月8日からニューヨーク市もようやく始まりました。しかし、大きな新たな懸念として、ミネアポリスで起きた非武装のアフリカ系アメリカ人の死に続く大規模なデモと略奪の中で、保健当局は、今感染拡大が再び発生する可能性を恐れています。

James Gannonさん

ニューヨーク市 6月1日現在

明るい、元気が出るようなニュースを伝えたいのですが、3月以来ニューヨーク市は悲しみの嵐に襲われています。友人を含む2万人以上のニューヨーク市民が亡くなり、伴う影響は甚大なものでした。

私の働くオフィスは3月中旬から閉鎖されており、少なくとも7月まで、もしくは更に延長することになると思います。在宅勤務に移行し、ビデオ会議を行っていますが、ふとした拍子に誤って出会うスタッフの家族やペットたちと親しくなれるという楽しい機会も増えました。この数ヶ月の悲しみの中でも感動した出来事を2つ紹介したいと思います。

1つは、私の近所の住民たちは、毎晩午後7時に、アパートや自宅の窓から、通りへ向かって拍手や歓声、鍋などを叩いて大きな音を出しています。当初は、医療従事者への感謝を表すために始めたものですが、現在は新型コロナから生き延び、コミュニティが一つになっていることへの喜びと誇りを表すようになりました。

2つ目は、私の妻が働く地元病院でのエピソードです。3月~4月にかけて、市内の病院では、医療用防護服やマスク、機材が完全に不足しており、すべての病院スタッフは危険な状態に働かなければならず、そのため、多くの人が感染する原因となりました。私も医療器材の寄付を集める妻を手伝い、言い表せないほどの人々の素晴らしい優しさに触れました。工具店のオーナー、研究所の予備の機器を差し出した科学者、手作りのマスクを送ってくれた全国のボランティア、そして医療用マスク郵送してくださった日本と中国の知人たちから、彼女は約2,000枚のマスクをはじめ医療器材を集めることができました。

GEORGIA

2016年
アトランタ大会開催地

Yoshi Domotoさん

アトランタ 6月1日現在

ジョージア州はアメリカ国内でも最初に制限が解除された州の一つですが、ジョージア日米協会は慎重な取り組みが必要であるとし、夏季のプログラムはオンラインで開催することとしています。

また、先日ミネアポリスで起きたジョージ・フロイド氏の死に対するデモと暴動がアトランタでも週末にかけて見られました。アトランタ市は規制緩和策5段階中の第2段階へ進みました。未だ公衆衛生緊急事態は延長され、高齢者や持病を持った人たちの外出制限がありますが、感染リスク対策が十分にされたバーやナイトクラブの再開や、25人以上の集会が許可されています。また、すでに夏休みが始まった義務教育機関での夏期講習やサマーキャンプも徹底した対策下での実施が許可されています。



4月に出かけた先国としたタイムズスクエア



日本からの寄付されたマスクを受け取る妻の上司



彼女の名前はクロエ。
アジアの小さな町で暮らしています。
まだ誰にも言っていないけれど、
将来は、獣医さんになりたいそうです。

そんな女の子の毎日に、
私たちの仕事は役立っているだろうか。
三菱商事は、そんなことを考えます。
彼女の未来を考えることは、
この世界の未来を
考えることにつながっている。
そう思うのです。
仕事広がるほど、複雑になるほど、
その先にある一人の幸せを想う。
私たちは、三菱商事です。

世界とひとりのために。

Japanese Hospitality Wherever You Fly



Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER 

www.fly-ana.com

寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate sponsors of CIE Japan

AISIN

アイシン精機株式会社
AISIN SEIKI Co., Ltd

AICHI STEEL

愛知製鋼株式会社
AICHI STEEL CORPORATION

総合教育
生涯学習機関 **ECC**

株式会社ECC
ECC Co., Ltd.

kikkoman 

キッコーマン株式会社
Kikkoman Corporation

JTEKT

株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION

ANA

全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.

DAIKIN

ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.

DENSO

株式会社デンソー
DENSO CORPORATION

DOUTOR

株式会社ドトールコーヒー
Doutor Coffee Co., Ltd.

豊田合成

豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION

豊田自動織機

株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation

豊田通商

豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation

**TOYOTA
FINANCIAL SERVICES**

トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES
CORPORATION

トヨタ紡織

トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU
CORPORATION

NIFCO

株式会社ニフコ
Nifco Inc.

Amway

日本アムウェイ合同会社
Amway Japan

NYK LINE

日本郵船株式会社
NIPPON YUSEN KABUSHIKI
KAISHA (NYK LINE)

HINO

日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.

FKD | FUKADA DENKI

深田電機株式会社
FUKADA DENKI

FUJITSU

富士通株式会社
Fujitsu Limited

brother

ブラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance
Company, Limited

SMBC 三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking
Corporation

三菱商事

三菱商事株式会社
Mitsubishi Corporation

三菱食品

三菱食品株式会社
Mitsubishi Shokuhin Co., Ltd.

明治安田生命

明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Co.

森村豊明会

公益財団法人森村豊明会
MORIMURA HOUMEIKAI
FOUNDATION

アサヒグループホールディングス株式会社 / 東京海上日動火災保険株式会社 / パナソニック株式会社 / 矢崎総業株式会社
Asahi Group Holdings, Ltd. / Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd. / Panasonic Corporation / Yazaki Corporation

法人賛助会員一覧 (五十音順) Corporate members

明治安田生命保険相互会社 / 渡辺商事有限会社

Meiji Yasuda Life Insurance Co. / Watanabe Trading Co., Ltd.



公益財団法人ジョン万次郎ホワイトフィールド記念
国際草の根交流センター

John Manjiro Whitfield Commemorative
Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアックス麹町 602
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : http://www.manjiro.or.jp